

## 法学部 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 憲法Ⅰ・・・011-A-110 → 法学科が開設した必修の入門的・基礎的内容の科目)

①開設部門コード	法学部共通 010	法学科 011	政治学科 012
----------	-----------	---------	----------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

#### 法学部共通 (010)

100番台	入門的・基礎的内容(主として大学1～2年次での履修が望ましい科目)
200番台	応用的内容(100番台の理解を前提とし、主として大学2～3年次での履修が望ましい科目)
300番台	発展的内容(100番台・200番の理解を前提とし、主として大学3～4年次での履修が望ましい科目)

#### 法学科 (011)

100番台	入門的・基礎的内容(主として大学1～2年次での履修が望ましい科目)
200番台	応用的内容(100番台の理解を前提とし、主として大学2～3年次での履修が望ましい科目)
300番台	発展的内容(100番台・200番の理解を前提とし、主として大学3～4年次での履修が望ましい科目)

#### 政治学科 (012)

000～099	専門導入科目群
100～299	専門導入科目群以外の、1年次履修推奨講義科目(*)
300～499	2・3年次履修推奨講義科目(*)
500～699	3・4年次履修推奨講義科目(*)
700～799	専門演習
800～899	特別演習・特殊講義・外国書講読
900～999	FTコース関連科目

\*：特殊講義は除く

## 経済学部 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 入門演習・・・021-A-100 → 経済学科が開設した必修の1年次に履修可能な科目)

#### 経済学科 (021)

分類	記号	内容	備考
開設部門	021	経済学科	
履修上の位置づけ	A	必修科目・選択必修科目	いわゆるA群(専門基礎科目)
	B	選択科目・自由科目	いわゆるB群(専門応用科目)
	C	学部共通科目(「英語で学ぶ・・・」「外国書講読」)	特出し: アルファベットCを営科と共通化
	D	学部・大学院共通科目	特出し
	(F)	(大学院)	
通し番号(百の位)	1	1年次から履修可能な科目	
	2	2年次から履修可能な科目	
	3	3年次から履修可能な科目	
	4	4年次から履修可能な科目	
通し番号(十の位)	0	演習	営科と付番を共通化させるため

\*下二桁は、原則開設年表の順に適当に付番

#### 経営学科 (022)

分類	記号	内容	備考
開設部門	022	経営学科	
履修上の位置づけ	A	専門基礎科目	
	B	専門応用科目	
	C	学部共通科目	特出し、通し番号の下2桁はランダム
	D	学部・大学院共通科目	特出し
	(F)	(大学院)	
通し番号(百の位)	1	1年次から履修可能な科目	
	2	2年次から履修可能な科目	
	3	3年次から履修可能な科目	
	4	4年次から履修可能な科目	
	6	経営学特殊講義	特出し
	9	産業事情	特出し、通し番号の下2桁はランダム
通し番号(十の位)	0	演習	
	1	経営組織・人事	
	2	経営戦略	
	3	経営史	
	4	経営科学・オペレーションズマネジメント	
	5	情報	
	6	会計・財務	
	7	マーケティング・流通	
	8	経済・社会関連領域	
9	その他(単位認定用)		

※学部共通科目については、開設部門コードは020、履修上の位置づけはCとして表現。

## 文学部 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 史学概論・・・032-A-101 → 史学科が開設した必修の1年から履修できる講義科目)

①開設部門コード	哲学科 031	史学科 032	日本語日本文学科 033
	英語英米文化学科 034	ドイツ語圏文化学科 035	フランス語圏文化学科 036
	心理学科 037	教育学科 038	文学部共通 030

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

#### 哲学科 (031) 哲学系

区分	定義
百の位が「1」	哲学思想史系科目
110番台	基礎演習(哲)
120番台	2年次演習(哲)
130番台	専門講義(哲) ※美学美術史系では「選択科目」となる。
140番台	専門演習(哲) ※美学美術史系では「選択科目」となる。
300番	卒業論文(各系共通)

#### 哲学科 (031) 美学美術史系

区分	定義
百の位が「2」	美学美術史系科目
210番台	基礎演習(美)
220番台	2年次演習(美)
230番台	専門講義(美) ※哲学思想史系では「選択科目」となる。
240番台	専門演習(美) ※哲学思想史系では「選択科目」となる。
400番台	選択科目(各系共通)

#### 史学科 (032)

区分	定義
101～109	1年次から履修できる科目(講義)
111～119	1年次から履修できる科目(演習)
201～209	2年次から履修できる科目(講義)
211～219	2年次から履修できる科目(演習)
231	2年次から履修できる科目(外国語購読)
411	4年次から履修できる科目(演習)
421	卒業論文

#### 日本語日本文学科 (033)

区分	定義
001-099	履修年次が1年次限定の科目および1年次から履修可能な科目
100-199	2年次以上が履修可能な科目
200-299	2年次以上が履修可能で履修年次指定がある科目
300-399	4年次限定の卒業論文科目

#### 英語英米文化学科 (034)

区分	定義
100番台	履修年次の最低学年が1年生
200番台	履修年次の最低学年が2年生
300番台	履修年次の最低学年が3年生
400番台	履修年次の最低学年が4年生
2桁目が1	現代研究コース関連
2桁目が2	英語文化コース関連
2桁目が3	言語・教育コース関連

#### ドイツ語圏文化学科 (035)

区分	定義
100番台	1年生対象
200番台	2年生対象
300番台	3年生以上対象
400番台	4年生対象
500番台	全学年対象
00番台	ドイツ語
10番台	言語情報系
20番台	文学文化系
30番台	現代地域事情系
40番台	卒業論文関連

**フランス語圏文化学科 (036)**

区分	定義
100番台	フランス語
200番台	文化入門
300番台	文化講義
400番台	演習
800番台	ゼミナール
900番台	卒業研究

**心理学科 (037)**

区分	定義
001～020	必修及び選択必修の授業
021～0110	選択の講義
111～998	心理学特殊講義 (選択)
999	卒業論文

**教育学科 (038)**

区分	定義
0番台	卒業に必要な必修科目 (十の位は履修年次)
100番台	選択必修科目A群 (教育基幹科目)
200番台	選択必修科目B群 (教育創造科目)
300番台	選択必修科目C群 (発信技法)
400番台	選択必修科目D群 (2年次)
500番台	選択必修科目E群 (3年次)
601～649	選択必修科目F群 (免許関連科目) 教科系
651～699	選択必修科目F群 (免許関連科目) 教職系

**文学部共通 (030)**

区分	定義
001～099	1年次から履修できる科目または履修年次が限定されていない科目
100～199	2年次から履修できる科目
200～299	複数の科目を包括している科目

## 理学部 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード＋②履修規定上の位置付け＋③通し番号

(例 一般物理学・・・041-A-101 → 物理学科が開設した必修の1年次配当科目)

①開設部門コード	物理学科 041	化学科 042	数学科 043	生命化学科 044	理学部共通 040
----------	----------	---------	---------	-----------	-----------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目（基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目）
E	資格関係（学芸員・教職課程）科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

#### 物理学科 (041)

区分	
A (100番台)	1年次配当・必修
A (200番台)	2年次配当・必修
A (300番台)	3年次配当・必修
A (400番台)	4年次配当・必修
B (500番台)	1年次以上・選択
B (600番台)	3年次以上・選択

#### 数学科 (043)

区分	
100番台	学年配当が1年生のもの
200番台	学年配当が2年生のもの
300番台	学年配当が3年生のもの
400番台	卒業研究
500番台	学年配当が2, 3, 4年生のもの
600番台	学年配当が3, 4年生のもの
Aの2桁目	開講学期を表す
Bの2桁目、1～5	分野を表す：1代数、2幾何、3解析（含確率）、4数理学、5計算機
Bの2桁目、0、6	0は数学講話、6は輪講

#### 化学科 (042)

区分	
100番台	1年次配当（110番台 無機化学、120番台 有機化学、140番台 その他の講義科目、150番台 実験、160番台 演習）
200番台	2年次配当（210番台 無機化学、220番台 有機化学、230番台 物理化学、240番台 その他の講義科目、250番台 実験、260番台 演習）
300番台	3年次配当（310番台 無機化学、320番台 有機化学、330番台 物理化学、340番台 その他の講義科目、350番台 実験）
400番台	4年次配当

#### 生命科学科 (044)

区分	
A (100番台)	1年次配当・必修
A (200番台)	2年次配当・必修
A (300番台)	3年次配当・必修
A (400番台)	4年次配当・必修
B (500番台)	2年次以上・選択
B (600番台)	3年次以上・選択

#### 理学部共通 (040)

区分	
A (100番台)	1年次配当・必修
A (200番台)	2年次配当・必修
A (300番台)	3年次配当・必修
A (400番台)	4年次配当・必修
B (500番台)	2年次以上・選択
B (600番台)	3年次以上・選択

## 国際社会科学部 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

【①開設部門】+【②履修規定上の位置づけ(アルファベット)】+【③通し番号(数字3桁)】

分類	記号	内容
①開設部門	051	国際社会科学科
②履修上の位置づけ	A	専門科目 必修科目・選択必修科目
	B	専門科目 その他
	C	
	D	
	E	
	F	
	G	
	H	英語科目 必修科目・選択必修科目
	I	英語科目 選択科目
	J	海外研修科目 必修科目
③通し番号(百の位)	100	原則配当年次 1年次
	200	原則配当年次 2年次
	300	原則配当年次 3年次
	400	原則配当年次 4年次
③通し番号(十、一の位)	00	主に演習 I
	01～49	日本語で開講される科目
	50	演習 II
	51～99	英語で開講される科目

例)

- ・入門演習 I → 051-A-100
- ・入門演習 II → 051-A-150
- ・Globalization and Business → 051-H-251
- ・Area Studies → 051-I-351
- ・海外研修 I → 051-J-101
- ・海外研修 II → 051-J-251
- ・卒業論文・卒業演習 → 051-A-400

## 基礎教養科目 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 哲学・・・007-D-001 → 基礎教養科目 基礎的内容の科目)

①開設部門コード 

基礎教養 007
----------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

基礎教養科目 (007)

区分	定義
001~100	基礎的内容

## 情報 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード＋②履修規定上の位置付け＋③通し番号

(例 初等情報処理 I・・・001-D-001 → 計算機センターが開設した総合基礎科目入門レベルの科目)

①開設部門コード 

情報 001
--------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

情報(001)

区分	定義
001-099	入門レベル
101-299	基礎レベル
301-999	応用レベル



## 外国語 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード＋②履修規定上の位置付け＋③通し番号

(例 英語B(初級)・・・002-D-111 → 外国語教育研究センターが開設した総合基礎科目 初級レベル英語Bの科目)

①開設部門コード 

外国語 002
---------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

外国語 (002)

区分	定義
100の位	レベル (1 初級、2 中級、3 上級、4 上特、5 セミナー、6 集…、0 免除科目)
10の位	言語 (1 英語、2 ドイツ語、3 フランス語、4 中国語、5 ロシア語、6 スペイン語、7 イタリア語、8 朝鮮語、9 アラビア語、0 日本語)
1の位	1 B、2 C、3 R、4 セミナー…、0 免除科目

## スポーツ・健康科学 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 スポーツ・健康科学 I・・・003-D-100 → スポーツ・健康科学センターが開設した総合基礎科目 文学部・理学部1年次必修科目)

①開設部門コード 

スポーツ・健康科学 003
---------------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

スポーツ・健康科学 (003)

区分	定義
100	文学部・理学部1年次必修科目
200	理学部2年次必修科目
300	全学部共通選択科目

## 教職課程 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード＋②履修規定上の位置付け＋③通し番号

(例 社会科教育法Ⅰ・・・091-E-101 → 教職課程が開設した資格関係の教職に関する科目(各教科教育法))

①開設部門コード 

教職課程 091
----------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

教職課程 (091)

区分	定義
000番台	教職に関する科目(共通の科目)
100番台	教職に関する科目(各教科教育法の科目)
200番台	教科に関する科目(教職課程の特設科目)
300番台	大学院科目(教職課程の開設科目)

## 学芸員課程 ナンバリングコード付番ルール

ナンバリングコードは、各科目についており、各学科ごとに、以下のコードを組み合わせ、その科目の水準、履修順序、授業形態などをあらわしています。

### ①開設部門コード+②履修規定上の位置付け+③通し番号

(例 生涯学習概論・・・092-E-100 → 学芸員課程が開設した資格関係の概論的内容(初級レベル)、必修の科目)

①開設部門コード 

学芸員課程 092
-----------

### ②履修規定上の位置づけ

A	各学部学科等の専門科目で、必修科目又は選択必修科目の位置付けと認められるもの。
B	各学部学科等の専門科目で、選択科目の位置付けと認められるもの。
C	各学部学科等の専門科目で、自由科目の位置付けと認められるもの。
D	総合基礎科目(基礎教養科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、外国語科目)
E	資格関係(学芸員・教職課程)科目
F	大学院科目
G	その他

### ③通し番号

#### 学芸員課程 (092)

区分	定義
100番台	概論的内容(初級レベル)、必修科目
200番台	基本・応用的内容(中級レベル)、必修科目
210番台	基本・応用的内容(中級レベル)、選択科目
300番台	実習(上級レベル)